第 12 講　【近世編】主権国家の形成
PART4 ブルボン朝のフランスと三十年戦争

Chapter 1　ブルボン朝の絶対王政

目標
ユグノー戦争からブルボン朝が成立した過程を理解しよう。
ルイ 14 世の統治の特徴を学ぼう。

1　ユグノー戦争の勃発

16 世紀後半　カルヴァン派の**ユグノー**とカトリック教徒の対立が激化

1562 年　宗教内戦〔　　　　　　　　　　　　〕が勃発

1572 年　パリで**サンバルテルミの虐殺**がおこる。これを機に戦争が激化

※結婚式のためパリに集まったユグノー数千人をカトリック教徒が虐殺。

※ユグノーの台頭を恐れた，王母で摂政の**カトリーヌ = ド = メディシス**が主導。

1589 年　アンリ 3 世が暗殺され，**ヴァロワ朝**が断絶

2　ブルボン朝の成立

1589 年　ユグノーの指導者〔　　　　　　　　　　〕が即位。**ブルボン朝**を開く

→カトリックに改宗し，カトリック教徒を取り込む

1598 年　〔　　　　　　　　　　　　〕を発して**ユグノー戦争**を終結させる

※ユグノーに信仰の自由を保障。

1604 年　東インド会社を設立するが，活動はほとんどなし

3　ブルボン朝の絶対王政

1610 年　〔　　　　　　　　　〕が即位

1615 年　王権の制約になっていた議会〔　　　　　　〕の招集を停止

1624 年　〔　　　　　　　　　　　　〕が宰相になる

①王権に反抗的な貴族やユグノーを抑え，**絶対王政**の基礎を固める

②**ハプスブルク家**に対抗し，三十年戦争にプロテスタント側で参戦

③フランス語の統一と純化を目的に，学士院**アカデミー = フランセーズ**を創設

4　ルイ14世の治世

①治世前半

1643年 〔　　　　　　　〕が即位。〔　　　　　　〕が補佐

※中央集権化を進めたため，貴族や最高司法機関**高等法院**が反発。

1648年 〔　　　　　　　　　〕がおこる

※新興の貴族，民衆が三部会の開催などを要求。

1648年 **ウェストファリア条約**でアルザスなどを獲得

ルイ14世

②ルイ14世の親政

1661年にマザランが死去すると，自ら政治を行い，絶対王政の最盛期を迎える

A **王権神授説**を唱えて絶対王政を極め，「**太陽王**」と呼ばれる

B 政治家の〔　　　　　　　〕を登用して，**重商主義**政策を推進

あ 東インド会社を再建し，貿易の拡大を図る

い **王立マニュファクチュア**（王立の工場）の創設

C パリ郊外に〔　　　　　　　　　　〕を造営。華やかな宮廷生活を送る

→各国の宮殿・宮廷のモデルとなり，フランス語がヨーロッパの外交用語となる

D 1685年に〔　　　　　　　　　　〕。信仰の統一を図る

→弾圧されたユグノーの商工業者が，オランダやイギリスに亡命

③対外侵略戦争

1667年 **南ネーデルラント継承戦争**をおこす

1672年 **オランダ侵略戦争**をおこす

1688年 **ファルツ継承戦争**をおこす

1701年 〔　　　　　　　　　　〕をおこし，オーストリア，オランダ，イギリス，プロイセンと戦う

1713年 講和条約〔　　　　　　　　　〕を締結

フランスとスペインが合同しないことを条件に，孫をスペイン王位につける

まとめ

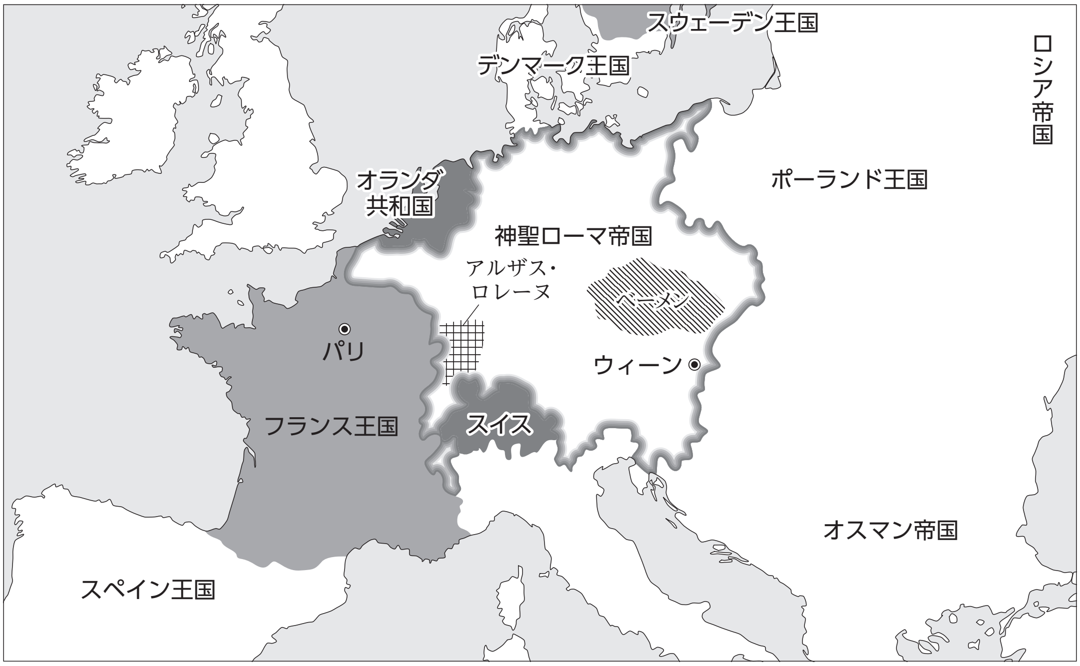
ユグノー戦争中にヴァロワ朝が滅び，ブルボン家のアンリが即位し，ナントの王令でユグノーの信仰を承認した。

絶対王政最盛期でヴェルサイユ宮殿を建てたほか，対外侵略戦争を積極的に行った。

Chapter 2　三十年戦争とドイツの状況

目標
三十年戦争が勃発した理由を理解しよう。
三十年戦争により神聖ローマ帝国はどのような状況に置かれたのかをおさえよう。

1　三十年戦争のはじまりとその構造



三十年戦争

17世紀には，寒冷化による凶作や飢饉，疫病などで人口が減少し，経済活動も停滞した（「**17世紀の危機**」）。

①三十年戦争のはじまり

1555年　**アウクスブルクの宗教和議**が成立
→和議以降もカトリックとプロテスタントの対立が続く

1618年　神聖ローマ帝国内の〔　　　　　　　　〕（ボヘミア）で**プロテスタント**が反乱
※新ベーメン王（のちの神聖ローマ皇帝）がカトリックを強制したことに反発。

1618年　〔　　　　　　　　　　〕が勃発
→初めは宗教戦争であったが，主権国家間の戦争に。

②三十年戦争の構造

A　カトリック側：神聖ローマ皇帝，スペイン（ハプスブルク家）

傭兵隊長〔　　　　　　　　　　〕率いる皇帝軍

B　プロテスタント側：ベーメンのプロテスタント

スウェーデン，デンマーク，フランス，イギリス，オランダ

※ルター派のデンマーク王，スウェーデン王

〔　　　　　　　　　　〕がプロテスタント支援を名目に参戦。カトリックの〔　　　　　　〕も**ハプスブルク家**に対抗してプロテスタント側につく。

C　金で雇われた〔　　　〕が軍隊の中心

※傭兵たちによる略奪や暴行が横行し，戦場となったドイツは荒廃

2　ウェストファリア条約

1648年に〔　　　　　　　　　　〕が締結されて三十年戦争が終結した。これにより，ヨーロッパの主権国家体制が確立した。

①アウクスブルクの宗教和議の原則を再確認

②ドイツ国内で，ルター派のほかに〔　　　　　　　　　　〕を公認

③〔　　　　　　〕と〔　　　　　　〕の独立を正式に承認

④神聖ローマ帝国の〔　　　〕君主が**主権**を獲得

→神聖ローマ帝国が有名無実化。この条約は「**神聖ローマ帝国の死亡証明書**」といわれた

⑤**フランス**がアルザスなどを獲得して領土を拡大

⑥**スウェーデン**が北ドイツの西ポンメルンを獲得して北欧の大国になる

まとめ　カトリックを強制されたベーメンが反乱をおこし，三十年戦争がはじまった。ウェストファリア条約で領主の主権が認められたことで神聖ローマ帝国の解体が確定し，有名無実となった。

第12講　PART4　確認問題

1　1562年にカルヴァン派とカトリック教徒の対立からおこった宗教内戦はどれか。

① フス戦争　② ピューリタン革命
③ シュマルカルデン戦争　④ ユグノー戦争

2　アンリ4世が開き，17世紀後半から18世紀初頭に最盛期を迎えたフランスの王朝はどれか。

① ブルボン朝　② ヴァロワ朝
③ カペー朝　④ ステュアート朝

3　ルイ13世の宰相を務め，ハプスブルク家に対抗して三十年戦争に介入した人物はだれか。

① マザラン　② コルベール
③ リシュリュー　④ ラブレー

4　ヨーロッパ諸国の宮殿・宮廷のモデルとされたヴェルサイユ宮殿を造営したフランス王はだれか。

① ルイ13世　② ルイ14世
③ アンリ3世　④ アンリ4世

5 ルイ14世がおこした侵略戦争の順番として正しいものはどれか。

① 南ネーデルラント継承戦争→オランダ侵略戦争→スペイン継承戦争→ファルツ継承戦争
② 南ネーデルラント継承戦争→オランダ侵略戦争→ファルツ継承戦争→スペイン継承戦争
③ オランダ侵略戦争→南ネーデルラント継承戦争→ファルツ継承戦争→スペイン継承戦争
④ オランダ侵略戦争→南ネーデルラント継承戦争→スペイン継承戦争→ファルツ継承戦争

6 三十年戦争に，プロテスタント支援を名目に参戦したスウェーデン王はだれか。

① ジョアン２世　② ヴァレンシュタイン
③ マルガレーテ　④ グスタフ＝アドルフ

7 三十年戦争で，皇帝軍を率いて，スウェーデンやデンマーク軍と戦った人物はだれか。

① ヴァレンシュタイン　② イェルマーク
③ トマス＝ミュンツァー　④ グロティウス

8 「神聖ローマ帝国の死亡証明書」といわれた，三十年戦争の講和条約を何というか。

① カルロヴィッツ条約　② ユトレヒト条約
③ ウェストファリア条約　④ トルデシリャス条約

第 12 講　PART 4　確認問題 解答

1 解答：④　フランスではカルヴァン派をユグノーと呼んだことから，**ユグノー戦争**と呼ばれた。

2 解答：①　**ブルボン朝**は，ルイ 14 世（在位 1643 年～ 1715 年）の時代に最盛期を迎えた。

3 解答：③　**リシュリュー**はルイ 13 世の宰相となり，絶対王政の基礎を固めた。ハプスブルク家に対抗するため，三十年戦争に介入した。

4 解答：②　**ルイ 14 世**はパリ郊外にヴェルサイユ宮殿を造営して，華やかな宮廷生活を送った。

5 解答：②　ルイ 14 世は盛んに周辺諸国に侵入し，1667 年に**南ネーデルラント継承戦争**，1672 年に**オランダ侵略戦争**，1688 年に**ファルツ継承戦争**，1701 年に**スペイン継承戦争**をおこした。

6 解答：④　スウェーデン王**グスタフ＝アドルフ**は，プロテスタント側について三十年戦争に参戦した。スペインはウェストファリア条約で領土を拡大し，北欧の大国になった。

7 解答：①　傭兵隊長の**ヴァレンシュタイン**は，三十年戦争で皇帝軍を率いてスウェーデンやデンマークなどのプロテスタント軍と戦った。

8 解答：③　**ウェストファリア条約**で神聖ローマ帝国は解体し，有名無実化したため，「神聖ローマ帝国の死亡証明書」といわれた。